



2018年12月20日
新潟支社

新潟駅の新幹線待合室が新しくなります

2018年12月22日（土）より、新潟駅の新幹線待合室が新しくなり、県内産の木材や匠の技をもちいた椅子やテーブルが設置されます。

おすすめの観光情報の発信と合わせて、県内外のお客さまが新潟の文化や技に直接ふれられる待合室として生まれ変わります。新幹線をご利用の際にはぜひお立ち寄りください。



位置図

待合室写真

※整備内容詳細については別紙1、2リーフレット参照。

■ 計画概要

- ・ 使用開始 2018年12月22日（土）から
- ・ 場所 新潟駅新幹線コンコース内
- ・ 面積/席数 約 65㎡ / 36席
- ・ コンセプト 【新潟のまごころ込めた、くつろぎを。】 座にいがた

座 にいがた THE NIIGATA

【新潟のまごころ込めた、くつろぎを。】

新潟のまごころ込めた、くつろぎを。

待合室のひとつきに、心ばかりのおもてなしを。

室内の椅子やベンチ、テーブルは、県産の木材をふんだんに使用した特別な物ばかり。

新潟の文化や技に直接ふれて、そこに込められた思いやこだわりを感じてください。



<新潟の枝豆>

山盛りの枝豆が、夏の定番。

枝豆といえば、新潟人がこよなく愛する食べ物のひとつ。枝豆の作付面積が全国上位の新潟ですが、多くが県内で消費されています。新潟では約40品種が栽培され、そのひとつが「茶豆」。嚼むほどに旨みが広がります。



<スノービーチプロジェクト>

雪国のブナに、新たな輝きを。

かつて薪や炭に使われた新潟のブナは、木材としての潜在能力も秘めています。その新たな活用方法を発信するのが「スノービーチプロジェクト」です。「座にいがた」では、魚沼市大白川産のスノービーチを使用しています。



<加茂の桐たんす>

世紀をまたぐ、木工の技。

新潟市から南に下った加茂市の伝統産業「桐たんす」。その歴史は200年以上で、全国シェアの7割以上を占めています。100年使えるほどの耐久性を持ち、親から子へ、子から孫へと、世代を超えて使い続けることが可能です。



<新潟漆器>

「塗り」の進化は、変幻自在。

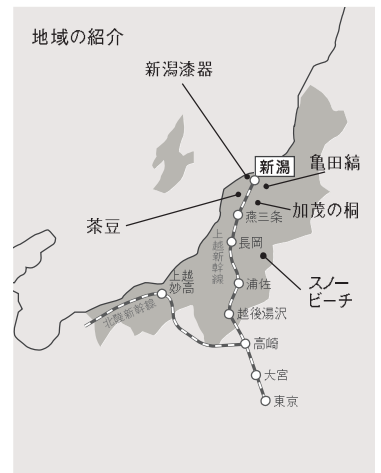
約400年前に始まった新潟漆器は、各地の漆塗りの技を取り入れて発展。「変わり塗りの宝庫」と呼ばれています。2003年に塗りの5技法が国の伝統工芸品に指定。近年、夕日塗や鱧銀塗（おぼろごんぬり）などの新しい技も開発されています。

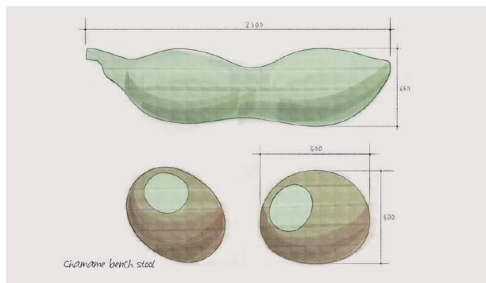


<亀田縞(かめだじま)>

繊細な自然の色を重ねて。

伝統織物「亀田縞(かめだじま)」は、新潟市南部に位置する旧亀田町で約300年前に生まれました。繊細な自然の色を組み合わせ、絶妙なバランスに仕上げるのが特徴です。技術は一度途絶えてしまいましたが、再評価されて復活を遂げています。

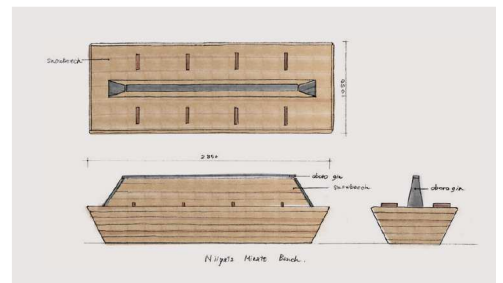




茶豆ベンチ・スツール

夏の新潟の食卓に欠かせない「枝豆」をモチーフにしたインパクト抜群のベンチ&スツール。新潟県民のビッグな枝豆愛を感じてください。

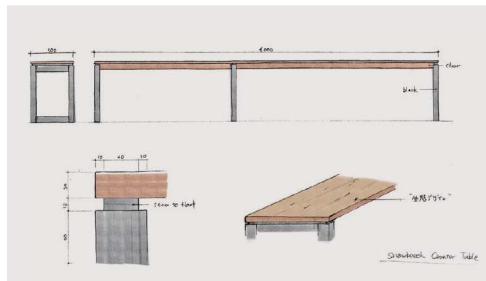
■デザイン：株式会社ムラヤマ
■製造：株式会社ムラヤマ



朧銀塗(おぼろぎんぬり)ベンチ

「港町・新潟」をイメージした、船の形のベンチ。スノービーチの木材をメインに使用し、背板上部は新潟漆器の「朧銀塗(おぼろぎんぬり)」で金属のような質感を表現しました。

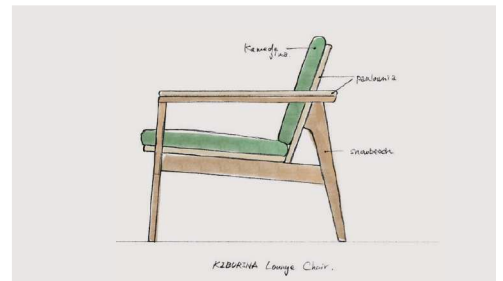
■プロデュース：朝倉佑介(朝倉家具)
■漆パーツ製造：真田桃子(新潟漆器) ■製造：朝倉家具



生態デザインカウンターテーブル

ブナの樹木の変色やキズ、表面の樹皮など、自然のままをデザインに取り込む「生態デザイン」をコンセプトにした豊かな表情が楽しめるテーブルです。

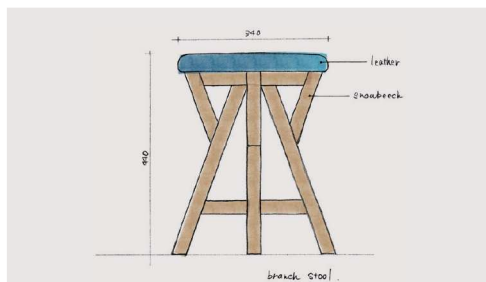
■プロデュース：朝倉佑介(朝倉家具) ■製造：朝倉家具
■スノービーチプロジェクト代表：紙谷智彦(新潟大学名誉教授)



KIBURINA ラウンジチェア

背面と座面のファブリックに亀田織(かめだじま)を使った1人掛けソファタイプのチェア。フレームはスノービーチ、ひじ掛けから背面の一部分には桐を使用しています。

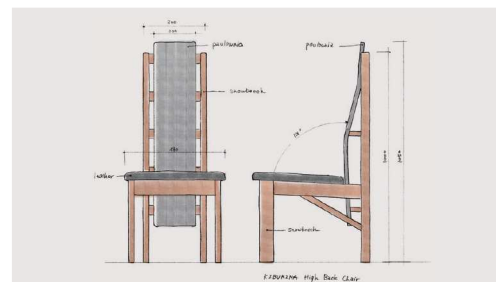
■デザイン：朝倉家具インテリア企画チームsin
■亀田織デザイン：佐藤悠人(UTOPIA) ■製造：朝倉家具



branch スツール

目を引く脚部のデザインは、木の枝をイメージ。置いているだけで絵になるオブジェのようなデザインスツールです。材料にはスノービーチが使われています。

■デザイン：外山雅暎人(Out Mount furniture)
■製造：朝倉家具



KIBURINA ハイバックチェア

背から腰にかけての流れるようなカーブは、新潟が誇る桐加工の技術によって実現。堅牢なスノービーチのフレームと、体にふれる桐が心地よいハイバックチェアです。

■デザイン：朝倉家具インテリア企画チームsin
■製造：朝倉家具

JR東日本新潟駅でお待ちしています

「座にいがた」は、JR東日本新潟駅の新幹線待合室に広がるくつろぎ空間。新潟らしさを詰め込んだ椅子やテーブルで訪れる人々をおもてなします。



※記載のデータは2018年12月22日現在のデータです。



〈座にいがた参加メンバー〉

- 1.朝倉家具：朝倉佑介 / 2.新潟漆器職人：真田桃子 / 3.UTOPIA：佐藤悠人 / 4.スノービーチプロジェクト代表：紙谷智彦(新潟大学名誉教授) / 5.株式会社ムラヤマ：石橋貴男 / 株式会社フレーム